

広島平和記念事業報告会と被爆体験伝承講話会

この2日間は平和について学び、考えた一生忘れない日

広島平和記念事業の参加児童5名が作文を発表

8月18日あいこうか市民ホールにおいて、戦没者追悼式と甲賀市主催の平和事業が行われ、日本共産党甲賀市議員団の3名も参加しました。5年ぶりに開催された広島平和記念事業、小学6年生15人が広島平和記念式典に参列し、参加児童を代表して5名が作文を発表しました。

●：「資料館には原爆で被害を受けた人々の生々しい写真や資料がたくさん展示されています。思わず眼をそむけたくなるような写真はたくさんありました。でもそれは広島で現実に起こったことです。被爆した方々が口をそろえて地獄の様だったと話す日々を想像し、事実を受け止め、行動して行かないといけません」

●：「原爆という被害を自分のこととして考えるようになりまし。これからの事実を後世に伝えていくことが大切だと思います」



被爆体験伝承講話会で語る甲斐晶子さん

原子爆弾や核兵器のない平和な社会を実現していくためにどうすればいいか…

●：「資料館には原爆で被害を受けた人々の生々しい写真や資料がたくさん展示されています。思わず眼をそむけたくなるような写真はたくさんありました。でもそれは広島で現実に起こったことです。被爆した方々が口をそろえて地獄の様だったと話す日々を想像し、事実を受け止め、行動して行かないといけません」

●：「原爆という被害を自分のこととして考えるようになりまし。これからの事実を後世に伝えていくことが大切だと思います」

●：「死体が折り重なり無残な光景、炎の中で助けを求める女の子を置いていくしかなかった、今でも思い出すのがつらい」と。また、「家族を失った原爆孤児は2000人、家も着るものも食べ物もなく、多くの孤児が死んでいった」と。戦争で一番犠牲になるのは子ども。今世界には1万2121発の核弾頭があり、どれもが広島原爆の100倍以上といわれています。うち3900発は実践配備されています。岡田さんは、日本が核兵器禁止条約に参加し、核兵器がなくなることを願っていると語りました。

●：「79年目の夏、二度と戦争を繰り返さないという思いを強く持った取り組みでした。」

「終戦の日」に日本共産党議員団で宣伝

79回目の「終戦の日」8月15日、日本共産党甲賀市議員団の3名が、甲賀市内を回り、戦争準備よりも平和外交を呼びかけました。

日本が行ったアジア・太平洋戦争により、2千万人を超すアジアの人々と、310万人以上の日本国民が犠牲となりました。

戦争の犠牲となられた方々に哀悼の意を表するとともに、戦争の悲劇を二度と繰り返さないため、平和を求める国民のみなさんと力を合わせてがんばります。



マイナ保険証を急ぐ必要はありません

マイナ保険証のない人には「資格確認証」を交付

「ご注意ください！今年12月2日から現行の保険証は発行されなくなります。国民健康保険証といっしょに届いた文書に「やっぱりマイナ保険証に切り替えないとだめなのか」との声が寄せられています。政府が本来任意のマイナンバーカード普及のために、紙の保険証を発行しないと決めたのが背景にあります。絶対にマイナ保険証に切り替えないといけません。」

■手元に届いた保険証は有効期限まで使用できます。甲賀市から届いた「国民健康保険証」の場合は、有効期

限は、「令和7年7月31日」となっており、有効期限までそのまま使用できます。

■有効期限までに資格確認証が交付されます。

マイナンバーカードを取得していない人、また取得していても健康保険証と紐づけていない人には、現行の保険証とほぼ同様の「資格確認証」が交付されます。4～5年は申請なしで、それ以降は申請により「資格確認証」が交付され、これまでの保険証と同様に医療機関の窓口で対応いただけます。後期高齢者医療保険や協会けんぽも基本的には同様です。

日本共産党
甲賀市議員団ニュース
2024年 8月 25日 第507号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044